

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	パンブキン
住所	名古屋市港区港栄一丁目1番22号
電話番号	052-304-8196

事業所番号	2311200394
管理者名	高崎淑美
対象年度	令和3年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

活動場所：当事業所が立地する市営住宅（新港栄荘）

実施日程：令和2年6月1日以降継続

実施した施設外就労の概要

・市営住宅（13階建て）の廊下の清掃・窓ふき、屋外の清掃・除草・落ち葉拾い・樹木の剪定、生ごみの収集管理

・市営住宅の全住民を対象とした安否確認業務を請け負うことになった。令和4年1月から実施。毎朝、「今日も元気です」カードの確認を行い、孤独死などの事故防止に尽力

その他の取り組み

・高齢化・独居化が進む市営住宅住民に作業ボランティア（有償）として活動の場を提供する。

・利用者数等：平日（月～金）20人前後が作業に従事。憩いの場ともなっている。

<目的>

地域連携活動のねらい

①高齢化が進む住宅住民に対して、清掃など作業を請け負うことによる地域貢献活動。

②地域の高齢作業ボランティアと利用者が軽作業を協働で行うことによる相乗効果。

③市営住宅住民の安否確認をすることにより、孤独死などを防ぐ

地域にとってのメリット

①高齢化が進む市営住宅において、住民が行ってきた清掃や生ごみの管理等活動の負担軽減。

②高齢化・独居化が進む住民の生きがいの創出と健康増進

対象者にとってのメリット

①施設外就労として、清掃作業、草取り作業に従事することにより、一般就労への足掛かりとする。

②利用者が地域の高齢者と一緒に作業をすることにより、幅広い人的交流が可能となる。

得られた成果

①市営住宅の屋内外で日々作業に当たるため、住民の方々から、ご苦勞様など声をかけて頂ける機会が増え、利用者のモチベーションUpにつながった。

②当住宅では、高齢化と独居化が進み、部屋に閉じこもりがちの方が多く、健康管理も大きな課題となっていた。作業ボランティアの活動は、生活に張りを持たせ、おしゃべりの機会も格段に増え、健康維持に役立っている。

課題点

①請負契約で得られる代金は、町内会費（住民の個人負担）から支払われるため、あまり高額にはしずらく、事業所としての収益の増額が課題

②作業ボランティアに参加予定の日に、連絡がなく欠席されたときは、電話・訪問による安否確認作業が必要。

<活動の様子>

活動の様子の写真

（作業ボランティアの様子）



（清掃業務）



（安否確認業務）



連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価

・新港栄荘（13階建て1棟で160世帯）は、市営地下鉄に隣接しており、区役所や商業施設にも近く、生活のしやすい立地条件にあります。しかし、近年居住者の高齢化と独居化が大きく進み、外出の頻度が大きく減ったり、誰とも話をしない人が増加傾向にありました。そんな折、(株)マリンハートの高崎社長から、軍手の検品・仕分けの仕事を作業ボランティアとして支援してもらえないかと打診を受けました。私どもとしては渡りに船で、近場で外出する機会を得、手先を動かす運動にもなり、かつ有償であれば、励みにもなると考え、住民に声掛けをしました。すぐに反応があり、平成31年4月からスタートし、現在では毎日20名ほどの住民が参加しております。毎朝元気に作業場に來られる人たちは、明るく、にぎやかで憩いの場にもなっており、このような場を提供して頂いたことに感謝しております。

・当市営住宅は元來入居者の絆は強く、協力して建物周辺の清掃やゴミ出しなどの作業はできておりました。しかし、共同作業に参加ができない家庭が増えてきたため外部に作業を委託すべく検討した結果、委託先に地元事業所でもある(株)マリンハートを選び、令和2年6月より作業をしてもらっています。市営住宅内にある事業所でもあり、調整がしやすく、素早く且つ丁寧に作業をしていただき、住民からも委託して良かったとの意見も出ております。事業所で働く障がい者の人たちと挨拶を交わす機会も増えましたので、今後とも良い関係をつくっていかねばと考えております。

今後の連携強化に向けた課題

①請負契約締結当初には予定していなかった作業の依頼が増加している。住宅の玄関・廊下の蛍光灯（約250本）の交換作業、集会室の窓ガラス清掃などがあり、今後も増える可能性があるため、対応する人員の確保が課題



連携先企業名

新港栄荘 自治会

担当者名

会長 木村 宏